

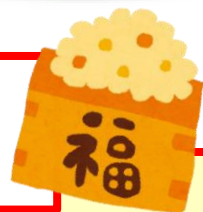
お知らせFROM雑賀幼稚園

R7年2月



2/3
(月)

節分集会



「福は内、鬼は外」。世にはびこる魑魅魍魎を退治しながら、こどもたちと皆様に福を。

絵本『オニじゃないよ おにぎりだよ』
(シゲタサヤカ えほんの杜)

おにぎり好きの3びきのオニたち。美味しいおにぎりを人間に食べてほしいと大量に作り、町に出かけます。しかし怖がられ、誰も食べてくれません。「オイラたちってこんなにこわがられていたんだな」そこで、ある考えが浮かびます。次の日もおにぎりを持ってそーっと山を下りました。はたしてオニたちの思いは伝わるでしょうか。



1/22
(水)

交通安全教室を行いました



白鳥クラブ主催で開催。道路での安全な歩行について確認し横断練習をしました。

その後、安全な傘の使い方を学び、傘をさして雑賀小学校まで歩く練習をしました。





こどもたちの作品



松江市保育所(園)・幼稚園造形展が1月末、県立美術館で開かれました。雑賀幼稚園のこどもたちは「みんな大好き！たけのこ山」を制作しました。
大切な仲間である生き物も一緒に、楽しく遊んでいます。

雑賀幼稚園の作品 「みんな大好き！たけのこ山」



他園の作品をたくさん見ました。「おお～これいいねえ」「きれいだね」etc.

アイディアいっぱい、楽しい造形の世界を楽しみました。



柳のようにしなやかに

町が雪で覆われた日に、大きな枝が折れて地面に落ちているのを見ました。別の場所では、柳の木が雪をふり払いながら風になびいています。

柳はけっして堅いわけではなく、むしろ柔らかいからこそ強い。「柳に雪折れなし」の言葉どおりのしなやかさがあります。

学校に目を向けると、子どもたちの多くが、反対意見を言われると二度と発言しないのが現状です。粘り強く相手に説明することがとても苦手なのです。何が正しいか正しくないかではなく、多様な考えを出し合って納得できる答えを導き出すことが大切なのですが。集団の中で、批判されず自由にものが言えることが保障されているかどうか、これも要因の一つかもしれません。

また、昨今の日本の若者は一度失敗すると回復が難しい、ともいわれます。柳のように、雪にも強風にも逆らわずしなやかであれば、逆境にも耐えられるのではないか。失敗しても立ち直る回復力も身につけられるのではないかと思います。どうすれば柳のようになれるのでしょうか。



Coffee Break



市内の団地で用事を済ませ、長い坂道を下っていた時のことです。小学校低学年と思しき女の子とその妹がお母さんと一緒に上ってきました。急に妹の方が列を離れて走り上り、私の目の前に来たように見えました。実はそのあたりの事はよく覚えていないのです。

母親が「あなたは今、人の進む道をじゃましたのよ」下から声をかけました。その子は素直に「はい」と返しました。すれちがう時に「すみません」と母親が私に。私は笑顔で目礼して別れました。

周りの景色を眺めていたこともあり、進路のじゃまをされ困ったという意識はなかったのですが。恐れ入ります。

